

作詩】阿久悠
作曲】坂田晃一

0/3

あな　たが　幸い　な　頃　は　笑　い　さ　ざ　め　き
誰　も　人　と　別　れ　て　見　え　て　い　た　け　ど　想　う
人　は　鳥　と　別　れ　て　雲　に　な　る　鳥　が　舞　う
鳥　は　の　心　が　空　な　ら　ば　必　ず　真　っ　白　な　鳥　の　詩
わ　た　し　の　よ　う　に　な　る

0

あな　　誰
たが　　は
が幸　　は
いせ　　と
たに　　と
頃見　　別
はえ　　れ
て　　て
笑　　あ
い　　と
さ　　で
ざ　　何
め　　を
き　　想
　　う
　　な
　　る
　　鳥
　　が
　　舞
　　う

あな　は　微　い　の　日　か　巢　立　つ　私　を
静　か　な　笑　み　で　見　つ　め　て　く　る
人　は　人　と　別　れ　て　愛　の　重　さ　覚　え
鳥　は　鳥　と　別　れ　て　春　に　な　る　秋　に　な　る
わ　た　し　の　心　が　湖　う　み　な　ら　ば
必　ず　や　さ　し　い　鳥　が　棲　む
鳥　よ　鳥　よ　鳥　よ　鳥　よ　鳥　の　詩

あなたがいた頃は

笑いさざめき

誰もが幸せに

見えていたけど

人は人と別れて

あとで何を想う

鳥は鳥と別れて

雲になる 雪になる

わたしの心が空ならば

必ず真っ白な鳥が舞う

鳥よ 鳥よ 鳥たちよ

鳥よ 鳥よ 鳥の詩

あなたを想うのは

日ぐれ時から

あたりが夕闇（ゆうやみ）
に 沈む時まで
人は人と別れて

夜にひとり迷う

鳥は鳥と別れて

月になる 風になる

わたしの心が水ならば

必ず北から鳥が来る

鳥よ 鳥よ 鳥たちよ

鳥よ 鳥よ 鳥の詩

3

鳥の詩

あなたはいつの日か

巣立つ私を

静かな微笑みで

見つめてくれる

人は人と別れて

愛の重さ覚え

鳥は鳥と別れて

春になる 秋になる

わたしの心が湖うみなら

ば 必ずやさしい鳥が棲む

鳥よ 鳥よ 鳥たちよ

鳥よ 鳥よ 鳥の詩

3 / 3

END